

教科名	音楽	学 年	1	週時間数	1. 3
使用教科書	「中学生の音楽1」(教育芸術社) 「中学生の器楽」(教育芸術社)				
副教材等	「音楽のハーモニー」(正進社) マイソング(正進社)				

教科の目標		○楽曲の美しさを感じ取りながら曲想と音楽の構造などとの関わりを捉えて理解し、表現や鑑賞に生かすことができる。 ○音や音楽の雰囲気を感じたり自分なりに評価したりしてよさを味わい、どのように音楽表現するかについて知識や技能を生かしながら、思いや意図をもつことができる。 ○様々な体験を通して音楽に対する興味・関心を養い、生活をより明るく豊かにしていく態度を身につけることができる。		
授業の進め方		○多様な音楽に興味・関心がもてるよう、幅広いジャンルの曲を扱います。 ○グループ活動を取り入れ、みんなで助け合い、工夫し合いながら学びを深めます。 ○年間を通して歌唱・鑑賞・器楽・創作の授業を行い、器楽ではアルトリコーダーを使用します。		
観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	つけた力	○曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	○曲にふさわしい音楽表現を創意工夫している。 ○音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。	○主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験している。 ○音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養っている。
	方法	・定期テスト ・実技テスト ・副教材、ワークシートの内容	・各活動への取り組み方 ・副教材、ワークシートの内容 ・実技テスト	・各活動への取り組み方 ・言動の意欲 ・副教材、ワークシートの内容
学習のポイント	授業	○普段から話をしっかり聴き、音楽の記号や用語を覚えて表現に生かそう。 ○それぞれの曲の時代背景や音楽の仕組みを覚えよう。	○歌唱や器楽では、曲にあった表現を工夫しながら堂々と演奏できるようにしよう。 ○音楽を心で聴き、よさや美しさを感じ取れるよう常に意識しよう。	○どの分野にも意欲的に取り組みよう。 ○仲間の考えを尊重し合い、お互いの音楽性を高め、全員で協力して進めよう。
	家庭	○普段からテレビなどで流れているクラシック、ポップスや伝統音楽など、様々な音楽を聴くことを心がけ、授業で学習する曲とのつながりを見つけよう。 ○実技は、頭の理解だけでは難しいので、時間や場所を考えて練習しよう。		
定期テスト範囲	1学期中間(5月下旬頃)			
	1学期期末(6月下旬頃)		1学期に学習した内容	
	2学期中間(9月下旬頃)			
	2学期期末(11月下旬頃)		2学期に学習した内容	

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	・校歌	・校歌の曲想や歌詞の意味を感じ取る。音楽の学習への意欲・態度を身につける。	・校歌（鼓中友情の歌）
	5	・歌声づくり	・恥ずかしがらずに歌う。周りの音を聴き合う。	・朝の風に
	6	・弦楽合奏の鑑賞	・弦楽合奏の響きを味わい、当時の音楽形態の様子を知る。	・「四季」より春
	7	・合唱コンクールに向けて	・自分のパートの音を正確にとる。	・合唱コンクールの課題曲、自由曲選曲
2	9	・合唱コンクールに向けて	・周りのパートの音を聴きながら歌い、クラスで1つのものを創り上げる達成感を味わう。	・合唱コンクールの課題曲、自由曲（文化祭まで）
	10	・鑑賞	・旋律の動きや歌手の声から曲の情景描写を感じ取る。	・魔王
	11	・器楽	・箏に親しみ、扱いに気をつけて演奏する。	・さくらさくら
	12	・鑑賞	・様々な楽器の音色や名前を知る。	・日本の民謡 ・アジアの諸民族の音楽
3	1	・日本の名曲	・曲想にあった強弱表現を身につける。	・浜辺の歌
	2	・創作	・リズムや音をつないで曲を創る努力をすることができる。楽譜に対しての知識や教養を深める。	・自作曲
	3			

教科名	美術	学 年	1	週時間数	1. 3
使用教科書	「美術 1」(光村図書)				
副教材等	「美術資料」(秀学社) 「レタリング字典」(秀学社)				

教科		○対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる ○自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。 ○楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を養い、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。		
授業		○作品制作を通して、見通しをつけながら作業に取り組むようにします。 ○基本的な技術を身につけ、制作に応用できるようにします。 ○作品の制作の他、知識や技能を幅広く身につけられるようにします。 ○感性や想像力を働かせ、自分の見方や感じ方で作者の心情や意図、表現の良さ、美しさを感じ取ることができるようにします。 ○表現方法の異なる作品を鑑賞することにより、いろいろな表現方法に気づき、深めることができるようになります。		
観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学 評	つ け た い 力	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ○意図に応じて表現方法を工夫して表している。	○自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	○美術の創造的な活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	方 法	・アイデアスケッチ ・完成作品 ・定期テスト ・ワークシート	・アイデアスケッチ ・完成作品 ・定期テスト ・ワークシート	・各活動への取り組み方 ・アイデアスケッチやワークシートの内容
	授 業	○対象をよく観察し、ものを見る目を養い、考える力をつけよう。 ○様々な表現方法に挑戦し、技能を身に付け自己の表現につながるよう、自分なりに工夫しよう。	○美術作品や友達の作品のよさや美しさを感じ取ろう。 ○表現の意図や機能性など、美術の働きや社会の中の美術を考えよう。 ○アイデアや感じたことを書き留め制作の基礎をつくろう。	○どの分野にも意欲的に取り組もう。 ○仲間の考えや意見を尊重し、認め合いながら美術への感性を高めていこう。
	家 庭	○制作に必要な準備物を考えて用意し、完成までの見通しをもって家庭でも自主的に制作しよう。 ○芸術や美術に興味を持ち、美術館等に足を運び、展覧会などを鑑賞しよう。 ○日頃より様々な分野の表現活動に興味を持ち、作品につなげていこう。		
定期	1 学期中間(5 月下旬頃)			
	1 学期期末(6 月下旬頃)		1 学期で学習した内容	
	2 学期中間(9 月下旬頃)			
	2 学期期末(11 月下旬頃)		2 学期で学習した内容	
	学 年 末(2 月下旬頃)		1 年間で学習した内容	

学期	月	単 元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	・オリエンテーション 《デザイン分野》 ・レタリング	・美術の学習目的を考える。 ・細部まで自分の表現を迫及し、試行錯誤しながら最後まで作品を完成させることができる。 ・レタリングに興味を持つことができる。 ・レタリングの基本的な描き方をマスターし、手本を参考にして細部まで丁寧に描く事ができる。	・明朝体とゴシック体 ・デザイン構成の基礎
	5		・明朝体やゴシック体の特徴を理解し、バランスよく描くことができる。	
		《デザイン分野》 ・色の整理	・色に関する基本的な知識を学び、今後の制作にいかすことができる。	・色についての基本
	6	《絵画分野》 ・ポスターカラーの使い方	・ポスターカラーの使い方を学び、基本的な色を作ることができる。 ・ポスターカラーを使いグラデーションや平塗をすることができる。 ・ポスターカラーの特徴を理解し、いかすことができる。	・筆の使い方 ・平塗
	7	・鑑賞 《デザイン分野》 ・ポスターの描き方	・感性や想像力を働かせ、自分の見方や感じ方で作者の心情や意図と表現のよさ、美しさなどを感じ取ることができる。 ・ポスターの描き方や手順を理解し、アイデアを出すことができる。 ・テーマや目的に合わせた資料を考えることができる。	・名画などを鑑賞 ・ポスターの描き方手順 ・構図や配置について
2	9	《デザイン分野》 ・絵文字	・発想を広げ、形や色を工夫して文字を表現することができる。 ・テーマに基づき自分なりに考え、自由に発想することができる。	・平塗 ・平面構成
	10		・グラデーションなどさまざまなテクニックを効果的に使い、独創的な作品づくりができる。	
	11		・アイデアスケッチに基づき、着色の仕方を工夫することができる。 ・制作に集中して取り組み、最後まで根気よく仕上げようと努力する。	
	12		・細部まで自分の表現を迫及し、試行錯誤しながら丁寧に制作ができる。	
		・鑑賞	・友だちや身近な人の作品を鑑賞することで、作品の良さや美しさを感じるとともに、表現方法の工夫や様々な技法の使い方を発見し、お互いの良さを味わう。 ・感性や想像力を働かせ、自分の見方や感じ方で作者の心情や意図と表現のよさ、美しさなどを感じ取ることができる。	・友だちの作品の鑑賞 ・名画を鑑賞

3	1	《デザイン分野》 ・様々な表現方法	・デカルコマニーやドリップングなどの表現方法について学び、技術を取得できる。 ・画材の違いによる、イメージや印象の違いを楽しむことができる。	・デカルコマニー ・ドリップング ・フロッタージュ ・コラージュ
	2	《デザイン分野》 ・お面	・様々な表現方法をいかし、イメージしたものを立体的な形にすることができる。 ・制作に集中して取り組み、最後まで根気よく仕上げようと努力する。 ・細部まで自分の表現を迫及し、試行錯誤しながら丁寧に制作ができる。 ・友だちや身近な人の作品を鑑賞することで、作品の良さや美しさを感じるとともに、表現方法の工夫や様々な技法の使い方を発見し、お互いの良さを味わう。	
	3	・鑑賞	・感性や想像力を働かせ、自分の見方や感じ方で作者の心情や意図と表現のよさ、美しさなどを感じ取ることができる	・名画を鑑賞